

●てくてくまつぷはイラストマップ
ですので、お出掛けの際は詳しい
地図を各自でご用意ください。

阿下喜温泉往復割引乗車券 (入浴券付)
お求めは、北勢線、西桑名駅・星川駅・東員駅・楚原駅で、
詳しくは、三岐鉄道までお問い合わせください。
☎(059)364-2143

コースのあらまし 大正時代に開業した路線長約20キロの三岐鉄道北勢線のうち、楚原駅と終点・阿下喜駅の間の沿線を歩く。この鉄道の線路幅は国際標準とされる鉄道線路の半分、約76センチしかない狭軌。軽便鉄道と呼ばれ、走る車両も玩具のように可愛らしい。この区間は員弁川と並行しており、コースも前半は鉄道に沿って、後半は員弁川に沿って進む。鈴鹿山脈を遠望しつつ、田園風景の中を走る黄色い列車の姿や、員弁川右岸の遊歩道歩きを楽しみ、昭和時代の雰囲気の色濃く残る阿下喜の街へと至る。

萬笑院 応仁の乱の少し後、戦国時代の1470年に春江禪師によって開かれたと伝える臨濟宗妙心寺派の禅寺。神護山と号す。苔むした石の階段を上りきった所に境内があり、小さな枯山水の石庭が設けられているのが、いかにも禅寺らしい風情。初代桑名藩主であった本多忠勝の信仰が厚く、忠勝の位牌も安置されているという。コースはこの寺を通り抜ける形になる。

ねじり橋・めがね橋 楚原駅から約1キロの付近にある鉄道橋で、コンクリートブロックを積んだアーチ構造。どちらも大正時代の建造で、土木学会選奨土木遺産に認定されている。とくにねじり橋は、江戸時代に造られた用水路・六把野井水とその側道を斜めに渡るため、トンネル部分が「ねじりまんぼ」と呼ばれる、ヒネリが入った珍しい構造になっている。現存するコンクリートブロック製の橋では日本唯一とされる貴重な建造物。めがね橋は3連アーチ構造。

- コース内の神社仏閣、施設等によっては、有料の箇所があります。
- 地図内の数字は、起点からの実測距離(メートル)を表わしています。

ハイキングのエチケット
*ゴミはまとめて持ち帰りましょう。
*山火事防止のためタバコに注意しましょう。
*大切な自然です。植物の採集はつしみましょう。

近鉄あみま倶楽部の情報は
コチラ!→



★は近鉄あみま倶楽部アプリのチェックポイントです。

- 近鉄大原上本町駅から桑名駅まで特急約2時間5分
- 京都駅から桑名駅まで特急約2時間20分(大和八木駅のりかえ)
- 近鉄名古屋駅から桑名駅まで約20分
- 三岐鉄道北勢線西桑名駅から楚原駅まで約40分
- 三岐鉄道のお問い合わせ ☎(059)364-2141
※平日8時30分～17時30分

●約11キロ [三岐鉄道 楚原駅～ねじり橋・めがね橋～萬笑院～員弁川散歩道～桐林館～三岐鉄道 阿下喜駅]

軽便鉄道と昭和レトロの街並みコース

このコース地図は2022年6月調査に基づいて作成しています。風水害、天変地異等によりコース変更が生じることがありますので、事前にお問い合わせください。
当コースのお問い合わせ ☎近鉄名古屋イベント係 ☎(059)345-7007



桐林館 昭和12年に建設された旧阿下喜小学校の校舎を、文化資料保存施設として整備・保存する。寄棟造、棧瓦葺の木造平屋建て、中央部に切妻屋根の玄関車寄せと塔屋、左右に2つのドーム風換気口などを持つ、左右対称の端正な印象の建築である。国の登録有形文化財に指定されている。館内は昭和39年頃の普通教室・校長室を復元し、展示している。

企画・発行=近畿日本鉄道(株)
制作・印刷=(株)アド近鉄
イラストマップ=宮野耕治
※無断転写禁ず。
きれいな思い出 きれいな自然
ゴミやアキ缶は、持ちかえりましょう

